

しれとこ「科学教室」 第1回

知床世界自然遺産の保護管理のために、専門家による「科学委員会」が設置されています。

しれとこ「科学教室」(全3回を予定)では、科学委員会のメンバーが、知床の現状や取組みについて紹介します。

第1部 16:00～17:00

「根室海峡のスケソ漁

～これまで、今、そしてこれから～

さくらい やすのり
桜井 泰憲



～お話しの内容～

日本周辺の主要魚類の資源動向はどうなっており、どうなっていくの？

これは、漁業に携わる方であれば、誰しも気になるところでしょう。しかし、日本周辺だけを見ていたのでは、見えてこないものがたくさんあります。そこで今回の「科学教室」では、オホーツク海・ベーリング海の海洋環境の変化と、それにともなう魚類資源の動向などについてもお話しします。

～プロフィール～

海洋生態学を専門とし、イカ類・タラ類の再生産機構に関する研究では水産海洋学会宇田賞、日本水産学会進歩賞を受賞。科学委員会の委員および同委員会海域ワーキング・グループ座長を務める。



第2部 17:00～17:30

「地球温暖化と知床の水産業」

まきの みつたく
牧野 光琢

～お話しの内容～

今や、地球温暖化という言葉はすっかり定着してしまいました。

温暖化が進むと、スケトウダラなどの重要水産資源や地域社会にどのような影響がでるのでしょうか？

最新の研究成果をお話しし、いま私たちがすべきことについて議論したいと思います。

～プロフィール～

現在(独)水産総合研究センター中央水産研究所漁業管理グループ長。科学委員会海域ワーキング・グループ特別委員、IUCN生態系管理委員会漁業専門家グループ委員、北海道大学客員准教授などを務める。

第3部 17:30～18:00 質疑応答・意見交換

日時：7月25日(月) 16:00～18:00

場所：羅臼漁業協同組合 2階会議室 (羅臼町船見町)

参加無料！どなたでもご参加いただけます。